

京都大学臨界集合体実験装置 (KUCA: Kyoto University Critical Assembly)の概要

●概要

京都大学臨界集合体実験装置(KUCA)は、原子炉物理、放射線物理等に関する基礎研究、教育訓練を行うことを目的とする装置であり、全国の大学の共同利用研究施設として多くの研究者・学生に利用されている。1974年8月に初臨界し、以降、9,000回以上の運転実績を有する。

●特徴

✓ 固体減速、軽水減速の2種類の炉心から構成。

●燃料

✓ 高濃縮ウラン燃料

●主な使用目的

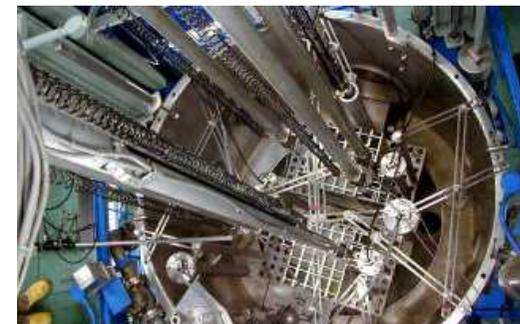
- ✓ 炉物理実験
- ✓ 中性子利用実験
- ✓ 学生の教育訓練



▲KUCA外観



▲固体減速炉心



▲軽水減速炉心